教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
外国語	論理・表現Ⅱ	2	習熟度別	共通	2

教科書（発行所）	be English Logic and Expression Ⅱ　Clear　（いいずな書店）
教科書以外の教材	1　英作基本文例 600（啓隆社）　2　単語帳：システム英単語（駿台文庫）　3　EARTHRISE 総合英語(数研出版)

学習の到達目標	「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して，コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに，論理の構成や展開を考察することで，情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。			
	学期	学習内容	具体的な活動	考査等
学習計画	1学期	[1st Zone：Talking about Yourself] L1　Your Interest 興味のあることについて話す L2　Your Daily Life 日常生活を紹介する L3　Your School Life 学校生活について話す [2nd Zone：Interaction with Society] L4　Media Literacy メディアリテラシー L5　Helping Others ボランティア活動 L6　Introducing Your Town 地域活性レポート	L1 興味のあることについて話す。クラブ活動について伝える。グループのメンバーを紹介する。 L2 流行していることや関心のあることを話す。 L3 留学生に掃除の手順を説明する。 L4　SNS への投稿について話し，注意点をまとめる。 L5 ボランティア活動への参加について考え，どんなボランティア活動に参加したいか書く。 L6 観光スポットを紹介する。地域の魅力について書く。	課題考査 中間考査 L.1～L.3 期末考査 L. 4～L. 6
	2学期	[3rd Zone：The Nature of the Human Mind] L7　Languages of the World 世界の言語 L8　Imagining the Future 想像力をはたらかせる L9　Happiness and Stress 幸福・ストレス [4th Zone：Globalization and Identity] L10 Comparing Countries 世界のデータを比較する L11 Cultural Diversity 文化の多様性 L12 Japanese Customs 日本の文化	L7 世界の英語話者について話す。消滅の危機にある言語についての意見を書く。 L8 ストーリーを続ける。未来の生活を想像する。 L9 幸せに必要な要素について考える。ストレス解消法について書く。 L10 グラフを読みとる。データから考えたことをもとに提案を書く。 L11 多文化共生について考える。スピーチの原稿を書く。 L12 時代とともに変わっていく習慣について考える。文化や習慣の変化について書く。	課題考査 中間考査 L.7～L.9 期末考査 L.10～L.12
	3学期	[5th Zone：Towards a Sustainable Society] L 13 Population Issues 人口問題 L 14 Rights and Equality 人権と平等 L 15 Think Globally, Act Locally 平和な世界を築くために	L13 人口問題についての文章を読んだり聞いたりして理解する。人口問題について話す。 L14 人権教育について話す。人権問題について考えたことを書く。 L15 SDGs について話す。SDGs の達成のために何かできるか書く。	課題考査 学年末考査 L.13～15
備考	1　提出物・宿題は期限をきちんと守る。2　日本語と英語の音の違いを学び，音読を積極的に取り入れる。 3　授業中は必ず辞書を持参し，こまめに辞書を引く習慣をつけ，語彙力をつける。 4　授業中は説明を集中して聞き，メモを取り，下線を引く習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので，丁寧にまとめる。 5　予習→授業で確認→復習のサイクルを身につけて繰り返すことが確かな英語の力となる。			

	ア　知識・技能	イ　思考力・判断力・表現力	ウ　主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
評価の方法	上記の観点に基づいて学習のまとまりごとに A，B，C で評価し，学年末に 5 段階評価の評定にまとめる。 【評価対象】(a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート等 (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物　(d) 小テスト・定期考査等のペーパーテスト 【評価結果】A (3)：十分満足できる状況　B (2)：おおむね満足できる状況　C (1)：努力を要する状況		